

平成27年度NBC冠講座

「ビジネスモデルと事業戦略」(3年生) 開講報告

文京学院大学

本学では、社団法人東京ニュービジネス協議会(NBC)との包括提携に基づく共同事業推進の一環として、平成19年度後期から経営学部3年生を対象とした科目「起業と事業創造」(現在「ビジネスモデルと事業戦略」に名称変更)(櫻澤教授)、平成20年度前期から経営学部2年生を対象とした科目「ベンチャービジネス」(現在「起業と事業創造」に名称変更)(櫻澤教授)において、NBCより新興企業の経営者を特別講師としてお招きしております。

「ビジネスモデルと事業戦略」では、経営者の方にご登壇いただき、学生が実際に企業向けのビジネスプランを策定し、プレゼンテーションを行います。

今年度、ビジネスモデル策定の特別講義にお招きしたのは、株式会社ベアーズ、専務取締役、高橋ゆき氏です。

ベアーズは、高橋専務自身が香港の企業で働きながら利用したメイドサービスによって家事や育児を快適にこなした経験から、家の中のことを安心して任せられる家事のパートナーの必要性を強く感じ、1999年に日本初の家事代行サービス業として設立されました。「女性の“愛する心”を応援します」を基本コンセプトとし、家事代行サービス、ハウスクリーニング、ベビー&キッズシッター、高齢者支援というサービスの他に、ホテル清掃、マンションコンシェルジュ、法人向けのオフィス・ビル清掃サービス等も手がけています。



高橋専務から提示された課題は、「5年後のベアーズに必要な新規事業」におけるビジネスモデルの策定。「お一人様市場」、「二世帯同時消費市場」、「アクティブシニア市場」、「家事大学」のいずれかの領域か、「私はこれをベアーズの中で実現させたい」という強い熱意がもてる領域でのビジネスモデルの策定です。具体的に初期投資額なども提示され、学生たちにはかなり詳細なビジネスモデル策定が求められました。



高橋専務をお招きしての初回の特別講義は、10月22日。学生たちは、櫻澤先生の通常の講義でディスカッションを重ねつつビジネスモデル案を作成していましたが、まだ詳細なプランを提示できる状態ではありませんでしたが、事前に高橋専務にお渡しした各自A4用紙1枚のプラン概要をもとに、高橋専務から学生一人一人に詳細なコメントとアドバイスをご講義いただきました。

2回目の高橋専務をお招きしての特別講義は12月17日に行われました。

学生は様々なリサーチなどを重ね、最終的には学生一人当たりのビジネスモデル資料は平均でA4用紙5枚にもものぼり、高橋専務、櫻澤先生、学生たちが様々な視点から質疑応答やディスカッションを行いました。

高橋専務からは「大義、手段、高付加価値(幸付加価値)。何のために、何を持って、どのような付加価値を生み出すのか?これらがきちんと機能するようなビジネスモデルを作ると顧客に共感してもらえるブランドとなっていきます。こういう見えないものをしっかり考えていくことが大切です。」と自身の経験を踏まえてビジネスモデル構築において重要な要素を語っていただきました。

